

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第2回飯塚市図書館運営協議会
開催日時	令和元年11月27日(水) 午前10時00分～午前11時52分
開催場所	イイツカコミュニティセンター3階 学習室301
出席委員	後藤委員 白瀧委員 瓜生委員 平野委員 高田委員 和多委員 西田委員 木村委員 大塚委員
欠席委員	山本委員
事務局職員	【指定管理者(図書館流通センター)】芳野館長・瓜生統括チーフ 【教育委員会】原生涯学習課長、平田生涯学習課長補佐、 村岡中央公民館・図書館係長
発言者	発言内容
生涯学習課長	<p>1 開会のことば</p> <p>2 教育委員会あいさつ</p> <p>地域の情報拠点として、知識や情報等を蓄積、保存、提供するとともに、情報リテラシーを向上に資する上で、図書館は重要な役割を担っていくことが求められています。</p> <p>変化の激しい現代社会では、図書館に求められるものも大きく変化し、資料・情報についても時代の要請に応じて提供する部分、変化に関わらず蒐集保存すべき部分とのバランスの取れた運営が重要だと考えています。</p> <p>これからの公立図書館には、新たな視点に基づく役割やサービスが求められ、少子高齢化の進展、経済・雇用情勢の変化、高度情報化社会の進展、個人のライフスタイルや価値観の多様化など、近年の急激な社会情勢の変化に対応が必要と認識しています。</p> <p>従来の貸出中心のサービスに加え、個人や地域の課題解決を支援する機能なども含めた「レファレンスサービス」の充実や、家庭・地域・学校・関係機関等との連携強化など、図書館の情報提供能力を向上させる上で、図書館運営やイベント等にもアイディア、工夫などが重要だと考えています。</p> <p>委員の皆様には、社会教育、学校教育、図書館利用者等なども含め、様々な観点から、図書館運営全般に対する率直なご意見を頂き、より良い図書館づくりを進めていきたいと思っております。</p> <p>3 議事(報告・協議事項)</p>

<p>会 長</p> <p>委員一同</p>	<p>以降の進行は会長が行う。</p> <p>事務局より、議案(1)と(2)は関連があるため一括して審議したい旨申し出があっているがよろしいでしょうか？</p> <p>異議なし。</p> <p>(1)図書館業務報告について</p> <p>(2)図書館事業の進捗報告について</p> <p>資料に基づき、指定管理者芳野館長より説明。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館の貸出人数、貸出冊数及び来館者数の昨年度対比 ・各種事業の参加者数及び工夫等を報告 ・夏休み読書スタンプラリー参加者 2,015 名(前年比 186 名増)、達成者 468 名(前年比)128 名増。直営の頃から実施している、子どもたちに読書の楽しさや喜びを感じてもらうための重要な事業。指定管理となってもスタッフが同じ認識で、早い時期から企画し細かに声掛けや周知を行った結果だと考えている。 ・飯塚市図書館を使った調べる学習コンクール事業の一環として各館でサポート教室を実施。11 月 24 日に表彰式を実施し、優秀作品 7 点を全国コンクールに送付している。昨年度が初めて市内全小学校を対象として実施し、応募数 195 作品。今年度は 357 作品の応募があった。作品数が大幅に増えたのは学校の先生方の協力が大きい。令和 2 年 1 月 9 日に全国コンクールの結果が発表となるため、次回図書館運営協議会で報告したい。 ・小学校 1 年生向けの図書館利用案内を 6 月から 7 月にかけて 15 小学校を訪問して実施。参加した児童数 942 名。スケジュールの都合等で 4 校は未訪問。 ・ブックスタートフォローアップ事業として、6 月 13 日に街なか子育て広場で、本のソムリエ団長さんの講演会を実施。 ・現在市役所本庁舎 1 階で本のソムリエ団長さんが撮影したヨーロッパのクリスマスマーケット写真展を開催中。11 月 26 日午前と 28 日夕方に、団長さんの読み聞かせを実施。 ・9 月 14 日と 15 日にサイエンスモールを実施。理科読、リフレッシュ理科教室第 1 部・第 2 部と科学広場の 3 つの事業で構成。参加者数は理科読 41 名、リフレッシュ理科教室 210 名、科学広場 2,749 名の計 3,000 名が参加。関係団体やボランティアの協力により盛会のうちに終了することができた。講師をお願いしている大学からの評価も高く、飯塚市での開催は続けていきたいとのお言葉をいただいている。 ・6 月 22 日と 23 日に飯塚図書館館内で 60 代男性が倒れたが、図書館スタッフは救命救急講習等を受講しており冷静に対応ができた。
------------------------	---

- ・2010年に図書館職員のデザインでできた「ぼたぼん」が飯塚市のPRキャラクターとなった。今回着ぐるみとなり、飯塚市のイベントやPR活動や図書館のイベント等で活用していく。
- ・ブックスタート実施率10月末時点で95.9%。
資料に基づき、中央公民館・図書館係長より追加説明。
- ・ぶっくりモール in 飯塚を10月15日から17日まで、飯塚図書館、本町・東町商店街で開催。来客数は8,459名で昨年度7,162名に対し1,297名の増。
- ・生涯学習課独自事業として、県の子どもの読書活動推進事業費を活用し、市内19の全小学校で「家読(うちどく)」事業を実施している。
- ・同事業による講演会については、昨年引き続き本のソムリエ団長さんをお願いしている。来年実施予定。

会 長
A委員

ご意見、ご質問等はありませんか？

いろいろなイベントを通じて情報を発信していただいていることが市民にも伝わっている。図書館は当たり前前にありすぎて、学校図書館のイメージでいるが、飯塚市図書館として館長の元でされていることは、図書館の今までのあり方に限らず、広範囲に渡っていてイベントも多い。来館者、参加者も楽しみながら運営できているということは非常にありがたいし、ひいてはそれが充実した施設になると思う。ただ大きなイベントを開催すると、やはりいろいろなリスクもあるとは考えている。先ほど話をされていたが、サイエンスモールの中の安全検証委員会のあり方について、もう少し教えて欲しい。

図書館長

毎年実行委員会を作り、実行委員長を九州工業大学(以下、「九工大」と記載。)と近畿大学の先生に交代でお願いしている。今年は九工大の教授に実行委員長をお願いし、九工大の先生方3名で安全検証委員会を構成していただいた。今年は42ブースの参加があったが、内容と使用機材、どのように運営するかを記載した計画書を提出してもらい、検証委員会の先生方に確認していただき、この薬品を使うならこうしたことに気をつけなさいとか、これは使用しない方がいいですとか、安全メガネを使用してくださいとか、ゴム手袋は人によってはアレルギーがあるので、この素材を使ってくださいとか、事前にここを変えてくださいという指示までして守っていただいています。当日指示が守られているかを検証委員に巡回して確認していただき、計画通りか、変更指示が守られているか等を全て見ていただいている。薬品を使用しないブースもあるが、物理的な機械の動かし方も検証していただき、危険と思われる部分については指摘をしている。今年は飯塚高校からレーシングカーの出展があって、振動を伴う音を体感して欲しいという内容でエンジンを始動してもらうことが何回かあった。車両は動かないようにしてはあったが、万が一動いてはいけなかったので、タイヤが

	<p>地面に接しないようにジャッキアップしてくださいと当日指示し、飯塚高校も理解して従っていただいた。各ブースは担当者が時間帯で交代することがあるので、指示したことが守られているかを確認するため、一日に3回巡回していただいた。</p>
A委員	<p>分かりました。ありがとうございます。多分しっかりとされているだろうとは思っていたが、報道等で事故があったと報じられているのを見て、なぜそんな杜撰なことをと思うことがあった。特に科学となると、機会や電気や薬品を使うことがある。事前に計画を出していただいて、事前計画と変更が生じればそこは検証委員会で改めて内容を確認して対応していく状況があるということですね。安心しました。</p>
会 長	<p>他にございませんか？</p>
B委員	<p>本のソムリエ団長さんですが、頻繁に来られている印象がある。他の方をお願いすることは考えていないのか？団長さんは何年か前からすごくよく飯塚に来られている気がする。飯塚に限らずに来られているのかもしれないが、学校で呼んでいるのか？</p>
生涯学習課長	<p>学校が結構お呼びされている。</p>
C委員	<p>学校で呼んでいるのは分かります。でも図書館のイベント等でも講演されていますよね？それは学校に来ているついでにされているのか？</p>
生涯学習課長	<p>市から要請する中で事前に日程調整させていただいている。例えば飯塚市にお見えになる時に、私どもの予定している日程と調整して学校がお呼びされていることはある。団長が飯塚に来ているついでに講演していただいているということではない。</p>
C委員	<p>講演者ですが、この方しかいないのか？偏りがあるのではないか。好きな人は好きでしょうが、やはり偏ってらっしゃるイメージがある。私は1回しか話を聞いたことはないが、その時にこの方は偏っているなどと思って聞きに行かなくなった。他の人も読んでいただきたい。いろいろな方の話を聞きたい。</p>
生涯学習課長	<p>当然この方ばかりではないので、今後は他の方も含めて検討していきたいと考えている。</p>
C委員	<p>私もこの方ばかりのような気がしてならない。</p>
B委員	<p>飯塚小学校の保護者からも、また団長さんだね、という感じで言われる。よくお見えになるから、飯塚にばかり来られているのかなと感じた。</p>
C委員	<p>何か癒着とか特別な関係性があるから団長さんばかりをお呼びしているのかと(笑)。</p>
委員一同	<p>(笑)</p>
C委員	<p>いろいろな方を呼んでいただきたい。</p>
生涯学習課長	<p>検討する。</p>
会 長	<p>C委員、2回目を聞いたら印象が変わるかも。</p>
C委員	<p>どうでしょう。その時はかなり偏っていると感じた。</p>

D委員	<p>私もご意見はごもつともだと思う。作家や、いろいろな活動をしていらっしゃる方は他にもいる。ただ、予算と日程の都合がつかないということで、飯塚市の他の行事でもなぜこの人ばかりなのかという提起が他の審議会等でも出ている。そのときに市の状況を聞くと、やはり日程がなかなか合わないという話が出てくる。せっかくいろいろな審議会委員がいらっしゃるのだから、お知り合いとか都合のつく方とかが見つけられると思う。行政も遠慮せずに図書館運営協議会委員に尋ねられて利用されたい。</p>
生涯学習課長 会長	<p>そうした情報をいただけたらと思う。ありがとうございます。 他の人の話も聞きたいということですね。分かりました。他に委員の皆様から意見等ありませんか？</p>
D委員	<p>いろいろな資料を見るときに、どうしても数字に目が行くので質問したい。数字にこだわるわけではないが、2点質問がある。1点目は資料1の1ページ目、前年比の捉え方。数字を見ながら驚いたのが、地域外利用者の数値の取り方だ。前年が19であって、年計が100になったので526.3%となっている。これだけ増えたということのアピールしたいのかと思うが、確かに前年比としたら数字的には間違っていない。こうした捉え方をすると、どこか他の部分も880.何%とかになっている。通常前年比は100くらいで100を超えたら頑張っているという捉え方を私はするが、こうした大きな数字が前年比の%になるということに、どういう意図があるのか不思議だと感じた。それともう1点は、これは前回の運営協議会の時に、ものすごくこだわっている訳ではないと言っはいたが、現在、国で統計を取るときにジェンダー統計(男女別統計)という捉え方をしている。確かに内容によっては取りにくい数値もあるとは思いますが、飯塚市においても総務課から全課において可能な限りジェンダー統計を取るよう指導しているという回答をいただくので、この表には出てきてなくても統計が取れるものについてはできる限り男女別統計、年代別統計、そうしたものも今の時代としては取っていた方がいいのではないかと。もしかしたら取っはいるが、あまり必要ないからここに出てきてないということなのかもしれないが。いろいろなプランや計画が飯塚市にあって、私たちが業務の中で目にしやすいところが数字なので質問した。</p>
図書館長	<p>地域外の利用については昨年10月から始まり、たまたま途中から集計が入っているため、500%をアピールするつもりでは全くない。新しくこの統計欄を作り集計したら結果的に500%という数字が出てきてしまったということ。</p>
D委員 図書館長	<p>計算上、こうした数字になるということか？ 昨年10月から始まっている定住自立圏構想の中での数字を入れているため、突出して出てきてしまっている。これから先、変化を見ていくために新たに欄ができていくという程度だとご理解してほしい。また、</p>

	<p>ここには挙げていないが、その数字の進捗の中で飯塚市は男女別の統計を取っている。図書館としては毎月月末最終日に利用状況等の統計出力をしているが、ここでは男女別の数字は出していない。ただ、調べようと思えばすぐ調べられるものになっている。年代別統計は毎月出している状況。欄の数も限られているので、ここでは男女別統計は出していない。</p>
D委員	<p>ありがとうございます。あともう 1 件。お話し会のところで、人数が月ごとに変動があるのは、その時のお天気の状況等の原因があると思うが、颯田図書館は参加者がゼロというところがあった。颯田は専任の図書館職員がいないから大変だろうとは思いますが、どういう状況だったのか説明してほしい。</p>
中央公民館・ 図書館係長	<p>颯田図書館については、参加者が来なかったためゼロという報告を受けている。今後こうしたことにならないよう、颯田交流センターとも協議し対応していきたい。</p>
B委員	<p>私はいつも穂波図書館でお話し会をやっているが、やはりゼロのことがある。お話し会があることは伝えているが、お天気の具合もある。穂波ではだいたい 11 時から開催しているが、誰も来ないのでずっと待っていて、もうだめかなと思っていた時に来られて 11 時半くらいから始めることも結構ある。だから、毎回すごく楽しみにして来ている訳でもない感じだ。行けるときは行こうみたいな感じで来られている。やはりゼロの時はあるのかなとは思う。</p>
D委員	<p>ボランティアは大変だと思う。</p>
B委員	<p>そうです。準備して行っても誰も来ないこともある。でも、お子さんが一人でも来れば開催する。</p>
A委員	<p>ボランティアでお話し会をしていただく方たちは本当にありがたいと思う。子育てをしている保護者と乳幼児のことを考えると、決められた時間にいつもどおりの体調で行けるかというのは大変難しいところがあって、保護者はそこに不都合を感じたり、気持ちに余裕を持てなかったりとかがあると思う。ですので、アウトリーチ型(=出張型)が必要だなと思っている。お話し会は場所を決めて開催する。善意のボランティアをしていただいている方たちには、より負担を強いることになるのかもしれないが、アイディアとして普段本を読まない家庭に対して、その方たちが日頃出入りしている所にアプローチするような形にできないか。お話し会をお客様がゼロで開催したというのはもったいないし、図書館に一度も行かない方はお話し会にも行かないと思う。まずは一度足を運んでもらい、図書館はこんなに魅力的な場所で、しかもタダで好きなだけ本が読み放題ですよと言っても、時間の都合なり優先する事情があって足を運べないこともある。飯塚市は、どのような実施状況なのかを気にして統計を取ってくださるくらいに、特に乳幼児期の読書活動を推進しようとしているので、できれば乳幼</p>

	<p>児が出入りする場所に、親が選択しないと出てきてもらえないのであれば、親が連れて来るか来ないかに関わらず、保護者を飛び越えて子どもに直接ボランティアの方のお話し会や読み聞かせをして充実した読書活動が推進されるようになればいいといつも思っている。</p>
B 委員	<p>もちろん出かけていくという形態もある。このデータは図書館が開催するおはなし会だけに限られている。各ボランティアはいろいろな場所に出かけて行っている。私たちも小学校等に行っているし、幼稚園、保育園から要請があれば行く。乳幼児サークルみたいなのところにも行く。C委員も毎月明星寺団地のあかりサロンに行ったり、なかなか親が連れてこないような場所で子どもたち向けにお話をされてりしている。できるなら保護者が一緒にという形で開催し、子どもが一生懸命読み聞かせを聞いている姿を親に見てほしいという気持ちがすごくある。そうすれば、家で親が少し本を読んであげようかという感じになるのではないかといつも思っている。</p>
会 長	<p>C委員、出張に行った時は何人ぐらい来られますか？</p>
C 委員	<p>明星寺のあかりサロンは、多い時で子どもだけだと 10 人くらい、少ない時は 3 人から 4 人です。</p>
会 長	<p>ゼロにはならない？</p>
C 委員	<p>ゼロにはならない。</p>
会 長	<p>先ほど言われたように、お客様が来るのを図書館で待っているパターンだとゼロもあり得るということですね。</p>
C 委員	<p>明星寺団地は子どもがいる方がお見えになる。図書館は、やはり車で来るというのがあって、どうしても親が連れてくることになる。</p>
会 長	<p>開催時間帯の都合もある。</p>
C 委員	<p>子どもが行きたいと思っても、保護者が忙しくて連れて行く人がいなかったら行けない。</p>
D 委員	<p>地元でできるというのが大切な時もある。</p>
C 委員	<p>そうです。</p>
D 委員	<p>A委員が今言っていたように、来てもらうのではなく出向いて行くような段取りを…</p>
A 委員	<p>きっかけさえあれば、赤ちゃんでも読み聞かせをすれば見てくれるし、こんな一面が見られたと感ずることもできる。読み聞かせの内容によっては大人の方が感動したり、考えさせられたりすることがあるし、子どもに読み聞かせるつもりで、大人自身の価値観も改めてキレイになり、もう一度子どもの頃に戻って純粋な気持ちになって再度考え直すことができる。先ほど言われたように、子育て中の親も子どもと一緒に読むことがすごく大切だし、それを推進したいが特定の場所に来てくださというのは時間の制限があつて難しくて行けない方もいる。ですので、図書館はいい場所だと知らせる草の根の活動という意味でも、本当に必要な人の前まで出張してそういう場所を設けてもらえれば非</p>

会 長	常にありがたい。 今聞く限りでは、出張の方が参加者の中にコミュニケーションが生まれるような感じですね。来てくださいと言っても、見知らぬ人が来た時はうまくコミュニケーションが生まれればいいが、団地の方が顔見知りになってコミュニケーションが生まれやすい感じですか？
C委員	そうですね。それまで知らなかったけどお付き合いするようになったとかはある。今 3 年目だが、そういうのはすごく感じている。図書館にお話を聞きに行かれる方は、意識高い系だと思う。そういう家庭は、お母さんもすごくよく聞いてくださる。
B委員	最近の図書館のお話し会で私が感じているのは、以前はお父さんお母さんと子どもさんが来て、お父さんは図書館の方において、お母さんがお話し会を子どもと一緒に聞くというパターンが多かったが、最近はお父さんとお子さんという組み合わせが多い。お父さんが一緒にお話し会を聞くというのが、ここ 1、2 年増えてきたというのを実感している。
会 長	お母さんは別のところにいるのですか？
B委員	いいえ、お母さんは来ていない。お母さんは多分用事があるから来られないから、お父さんがお子さんを連れてくる感じだと思う。お父さんの意識も変わってきたかなとは思っている。
A委員	そういう意味では、飯塚市の男女共同参画は進んできたということですか？
委員一同	そうですね(笑)。
D委員	頼もしいですね。
B委員	4 か月検診もお母さんとお父さんが一緒に来るという形が増えている。
会 長	やらされているのではなくて、お父さんがすすんでという。
B委員	はい、自分からすすんで。
D委員	この前、白根さんと呼ばれましたよね。白根さんのご夫婦は若い頃お二人とも共働きで図書館の仕事をしていらっしやった。女性である奥さんは、仕事が終わって帰ってきて家事をしないといけないが、男性である夫さんは何にもしないけれど、奥さんが食事の用意をしている間にお子さんを膝に乗せて読み聞かせをしていたそうです。奥さんはそれがうらやましかったと話をしていらっしやいました。歯がゆいですねと。自分がお飯の準備をしているから夫は読み聞かせをしてあげることができるのにと(笑)。今はお父さんが子どもの世話をするのが当たり前になってきていい傾向です。
C委員	増えましたね。
会 長	なかなかその当たり前が難しいところもあります。他にご意見、ご質問はありませんか？
B委員	地域外利用者の件で、先ほど 500%みたいな話が出ていましたが、嘉麻市と桂川町と一緒に貸出できるようになって、一番心配されていたの

	<p>は返却がどうなるだろうかという点だった。そのあたりどんな状況か？</p>
<p>図書館長</p>	<p>順調に毎月新しい登録もある。貸出数も順調に上がっているが、市外の方に返却が遅れて督促がかかりますというのはほぼない。</p>
<p>委員多数 図書館長</p>	<p>そうなんです。今の話は嘉麻市と桂川町の住民が飯塚市で借りる場合で、飯塚市の住民が嘉麻市と桂川町で借りていて督促があるかという情報は現状では把握しない。少なくとも飯塚市にお見えになる市外の方について督促はあってない。</p>
<p>B委員</p>	<p>それはよかった。気になっていた。広域で一緒に利用するとなった時に返却督促の件は心配だった。</p>
<p>D委員</p>	<p>返却がすごく面倒と思う。借りたい気持ちがあるので借りに行くが、返すときは面倒というか、もっと近くの施設で返却できればいいのにと思ったりすることもある。車がない人にとっては四苦八苦しなから一番近接の稲築図書館に返しに行くという状況だ。でも、今から良くなっていきますね。</p>
<p>会 長 委員一同</p>	<p>他にご意見、ご質問はありませんか？</p>
<p>会 長</p>	<p>なし。</p>
<p>会 長</p>	<p>では、意見もないようですので、1の図書館業務報告についてと2の図書館事業の進捗報告については終わりいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>(3)「子ども読書活動」に関する調査集計結果について 資料に基づき中央公民館・図書館係長が説明。</p>
<p>会 長</p>	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートは5月に各関係機関に発送し回答をいただいたもの。 ・内容は前年度分を集約したものとなっている。 ・次回第3回図書館運営協議会では、前回アンケートとの比較をお示しするため、今回提示している内容とは違う形でお渡しすることとなる。 ・今回説明するのは、新たに設問を追加、又は修正した部分と数値に説明を要するものを中心とさせていただきたい。
<p>会 長 A委員</p>	<p>意見、質問等ありませんか？</p>
<p>中央公民館・ 図書館係長</p>	<p>37 ページの開館の時間帯についてだが、学校図書館は学校があるときは開館しているのではないか？図書館ごとに違う開館時間があるということか？</p>
<p>A委員</p>	<p>申し訳ありません、把握していない。</p>
<p>中央公民館・ 図書館係長</p>	<p>アンケートを取って回答はこのとおりだと。集計されただけで、その後内容について確認はされていないということか？</p>
<p>A委員</p>	<p>申し訳ありません、把握していない。</p>

中央公民館・
図書館係長
A委員

分からないところは電話でその都度確認している。前年度と違う部分もある。

開館時間は各小学校の取り組みで違うのかもしれないが、基本的には開いているものだと思っていたので、違うという回答が不思議に感じた。授業中という答えの学校は、授業中は開いているということかと思うが、それでいいのかと気になった。せっかく財産として本が置いてあるということなら、いつでも使えるというのが一番効果的と思う。あと、直接的には図書館の問題ではないが、不登校や引きこもりの生徒が保健室に登校というのがある。図書館に登校というのは可能性としてないのか。社会的な困り事として、学校に行けないとか、例えばいじめで辛い思いをしているとかがある。保健室だと病氣的な扱いとなるが、引きこもっている子どもたちにとって自分たちが読書で価値観が変わるとか学びが深まるとか世界が広がるということがあると思う。図書館はこういう魅力があるということで幅広く使ってもらい、本を読むことは魅力的だと伝えるために、そもそも学校図書館が使えないなら、わざわざそういった子たちが公共の図書館に来るのが考え難い。これは保育園の図書にも言えるが、もう少し有効、有意義に使うことが考えられると思う。せっかく統計を取っているのだし、こんな使い方がありますとか、このように利活用を充実できますというふうに、図書館として情報を発信するといいいモデルができてくると思う。取り組みにしても蔵書にしても内容に凸凹があるとか、本が多い少ないとか違いがある。平均すると 1,000 冊くらいの蔵書で数はありそうな気がするが、実際ないところにはない。この差を考えたときに絶対数がこれだけないであれば、もう少し充実が図れるのでは。統計を取るのはすごく大変な作業でご苦労だったと思うが、今のところは内容が分かるところまでの過程。これだけ労力を使ってアンケートを取るなら、結果を踏まえてどう今後活かすのかというのが肝だと思う。結果を踏まえたうえの情報発信をすれば現場もきっと活用してくれると思う。

D委員

昨年初めてこの調査の報告をされた時にお問い合わせしたが、設問の仕方が悪いと思う。若干変わったとは思いますが、今A委員が尋ねられた終日開館が市内に小学校 20 校くらいあるのに 13 校というのが回答としてあり得ない。現在飯塚市内の学校司書の配置は、状況が変わってなければ全校配置のはず。だとすれば、基本的には終日開館している。ただ、何校かは終日開館できていないところがあるかもしれない。特に中学校は、事務室で事務を執らないといけない時に図書館を開けたままにしておくと、子どもたちがいたずらをするかもというのもある。捉え方としては終日ではなくて授業中だけとか、始業前とか、放課後とか、そうした回答選択をするようにしてあると思うので、おそらくこれは設問の仕方を変えれば、ほとんどの学校が終日開館という回答になる

と思う。私は今何校かしか情報を知らないが、学校司書はほとんど終日、始業前から放課後まで図書館業務のみに従事している。たまに学校の行事等で他のところのお手伝いをするとは思うが。だからこの回答はおかしいと思いながら読んでいた。それが1点。あと、先ほどA委員が言われていた不登校の子たち、引きこもり、保健室登校の子だが、始業前とか放課後、それから授業中とか、保健室は病気でないと行かせないという担任の考え方が結構厳しい学校では、図書館にこっそり逃げてきます。中学校は授業が各教科制になるから適当に出て行きやすい。小学校の担任は終日ずっと児童を見ているから、何々ちゃんがないなという状況はすぐ分かる。私は中学校を何校か経験した中でとても悲しいと思ったのは、図書館に逃げて来ざるを得ない子たちを探し回られたときに、最初に図書館かもと担任がインプットしていればいいのに、それが無い。ここに匿って欲しいという子が来た時には匿う部分と、担任にこっそり伝える時があるが、担任によっては「こげなどこにおったんか。」と言われる。図書館は「こげなどこ」なんです。授業に行くのが当たり前だが、行くことができないから図書館や保健室に行っているのだけど。その辺の対応が今は少し変わりつつあるかもだが、担任から依頼されて、もし図書館に来た時にはしばらく気持ちを落ち着かせてあげてくださいということで、私は常に絵本のお話をしたり、作家の知り合いが多いので、その人たちと直接子どもたちの対応をしてもらって、卒業してからも非常にいい関係を作ってくれたりしている。そういう状況は何回かある。その辺をうまくキャッチされて利用されると、とてもいい状況というのができるのではないかな。アンケートの設問の仕方、それによって答える側の問題もあると思うが、答えからは見えない部分は結構ある。後の方に数値の部分ではなく、記述式の部分があるが、あの中にとってもいい問題指摘があっていると思う。この子ども読書活動推進計画(以下、「読書計画」と記載。)において、こうしたことをしっかり拾い上げている行政も大変だしすごいと思うが、拾い上げだけに終わって欲しくない。だから私はいっぱい質問をしたいと資料に付箋を付けて来たが、時間もないので後でまた文書でお渡しできたらと思う。去年の記述式のところは図書館との連携の部分等で、こうしたいという思いが書かれていてとても良くなってきている。だから、この推進計画が根付いてきているのではといい面で捉えていきたいと思っている。ただ、この出てきた経過を先ほどA委員が言われたように、回答が出てきたから終わりではなく、市としてもう一步踏み込んでくださいという形は言えないのかと思った一つの要因は、去年も質問をしたが、今どき台本板を使っている学校があるのか？また今回も台本板を使用していますかという設問がある。これは図書館の自由という点で問題視しなければいけない部分だと思う。それともう1点、図書館司書補助員という用

<p>B委員 中央公民館・ 図書館係長</p>	<p>語の使い方をまだしている。大きな一覧表の中では司書という用語にしているのに、これは整合性がない。飯塚市は今でも図書司書補助員という言い方をしているのか？この質問にこのまま平気で答えた現場の人も悪いが、私たちは図書司書補助員ではない、だから図書司書補助員はいないという回答にならないといけない。確かに、2校か3校か繁忙期だけ、臨時の司書が入っている。繁忙期だけでなく、ずっといらっしゃるのかもしれないが、そうした状況を考えたときに、このような設問をする市も悪いけれど、答える現場も意識がなく答えているのが見え見えだ。これも去年言ったはず。それが変わっていないのはどういうことかと。その辺はお互い気を付けないといけない。</p> <p>あと20校中19校ということは、1校は司書がないということか？ そうです。</p>
<p>D委員 B委員 D委員</p>	<p>私立の日新館中学校で司書ゼロになっている。</p> <p>分かりました。公立小中学校にいるのならいい。</p> <p>公立は19校全部に司書がいて、私立も拾いあげているのでこの結果になったのだらうと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>不登校の子を先生たちが学校の敷地内を探して「こんなところにおったとか。」という話ですが、見つけたときはどこでも必ず「こげなところにおったとか。」と先生たちは言いますね。トイレにしよう、どこにしよう「こげなところ」と言いますね。あれは非はないと思う。図書館だからということではなく、先生がそうした言い方をする人が多い。私も逃げ込むなら図書館が一番いいと思う。子どもたちも落ち着くし本も読める。ただ、学校長との関係で、そこに匿ってほしいと言われても校長に言わないとなると、またそこは難しいですね。</p>
<p>D委員</p>	<p>難しい。だから、聞いてない振りをして聞いてと担任に報告に行くが、子どもとの関係も大切にしないといけないし、やはりその子の将来的なことも考えないといけないという時に、どれが正しいかは判断できかねることがものすごく多い。</p>
<p>会 長 D委員</p>	<p>そうですよね。</p> <p>でも、これは人間のすることだし、担任によっては言いたくないということもある(笑)。</p>
<p>会 長</p>	<p>図書館長、もし小学生や中学生の不登校っぽい子が公立図書館に来た時に、どこの小学校とか中学校とかその都度尋ねますか？不登校の子かどうかも分からないし、もし来た時に「今日休みですか？」とか。でも平日の当然学校があっている時間に来たら気になるよね？尋ねるか、尋ねないかを教えて欲しい。館長だけでなく他の職員も尋ねたりするのかどうか。</p>
<p>図書館長</p>	<p>様子は見ますが、声掛けまではしない。不登校の子どもたちをお世話している方からも相談があり、居場所として図書館に行ってもいいと</p>

<p>会 長</p>	<p>した時に、どのように対応してほしいかを調べたことはある。ただ、やはり居場所とする時は、そっとしておく方がいいという感じの話があった。今のところ平日に、今日は絶対に学校があっているはずという時に来ている学生は見かけないが、いても私たちから声掛けはしない。ただ、何時ごろ来て何時ごろ帰ったとかは職員で共有している。</p>
<p>A委員</p>	<p>前にラジオで放送されていたが、公立の図書館に駆け込むのはいいと言っていた。行くところがないし、学校ではないがじっと見守ってくれたと。ただ、気に掛けるけど声は掛けないと。それがいいか悪いかというのは分からないが、難しい。他にご意見、ご質問ありませんか？</p>
<p>図書館長 A委員 D委員 A委員</p>	<p>未就学時期の保育園、幼稚園、子育て支援センター等での情報提供、本を読める環境、冊数にしても、それぞれの施設でかなりまちまちなのと取り組みがやはり少ないと思う。おそらくこれは財源の問題や、人員配置の問題だと思うが、そうした施設がやはり本を読む習慣の導入の窓口だ。小学校に行っても本を読む習慣が定着していなかったり、学校で本を読むのが嫌だったりとなると、そこから強制的に本を読ませようとするわけにはいかない。乳幼児期に保護者やボランティアが本を読んでもらったという記憶があれば、その後の活動や何でもとても豊かに広がる。ですので、データを取ってこのまま終わりにしてほしくない。予算がきちんと毎年つけば、多分こういう本を買った方がいいと言えるだろうし、図書館だよりとか赤ちゃん版の冊子ができて配布とかあれば目につきやすいし、行動が変わる機会になるかなと思う。本を収集したり、市内の図書館で貸したり借りたり返したりっていうのは、ルートは決まっているのか？</p> <p>だいたい午後2時から2時間半くらいかけて、毎日回っている。</p> <p>毎日ちょっと難しいだろうが、特別貸出ではない形で小学校には貸出している。</p> <p>団体貸出ですね。</p> <p>そうです、団体貸出です。その団体貸出を保育園は利用できない。保育園には絶対的な冊数が身近になく環境がずっと続いてしまい、公立図書館のように定期的に本を増やすことが図れないと、目の前に絵本がなかなかないという状況が乳幼児の間はずっと変わらない。平均を取れば相当数あることになるが、ない施設には一切ない。しかも一日に読み聞かせがないという所もある。公立、私立に関わらず、長い時間の中で一冊も一度も読んでもらえないというのは悲しいことだ。そうした施設にいる時間というのは相当長い。子どもは読んでくださいなかなか言いにくい。ですので、読んでもらえる環境を作るように働きかけていただいたらと考える。それはどこがするかというと、やはり公立の図書館から働きかけていただきたい。今はいろいろな方がボランティアで関わろうとしていらっしゃるんで、保育士が難しければそうした方たちに来ていただいと、もう少し公開するような形</p>

	<p>で保育園とか乳幼児の家庭に様々な情報が届くようになればいいというのが私の意見だ。</p>
D委員	<p>関連して質問するが、A委員、ずっと毎年保育園の団体貸出の話をしていますが、まだそれは受けられていないということか？</p>
A委員	<p>特別貸出は活用している。</p>
D委員	<p>特別貸出はあるわけですね。</p>
A委員	<p>団体貸出は手続きがすごく大変なので、他の形がないかなど。例えば20冊までとか決めて、20冊で毎日とは言わないが、1か月に1回借りられるというような形が取れないかなど。団体貸出は違いますね？</p>
D委員	<p>団体貸出は学期間ずっと借りられる。資料9ページの中ほどに、「絵本の冊数を増やしたいが財源が足りないので、子どもと一緒に楽しめるアイデアが欲しい」というご意見がある。それを見たときに、公立は図書費の予算があると思うが、私立はそれぞれの財源になる。例えばA委員の保育園ならば、その図書費の予算設定という感じで、全然予算がないというわけでは…</p>
A委員	<p>図書費という割り当てができないので、その年にある程度まとまって財源があると…(一部聞き取れず)毎月補うというか、仕事の一部として保育士がするので、どうしてもそれが後回しになる。よほど保育士の意識が高くないと、そのことにわざわざ時間を割こうとか、仕事の後に借りに行く返しに行くとかは、呼びかけてみたが結構難しい。10冊くらいならいいが、20冊となると量も多く持って帰るのも仕事外だし大変になる。何か別の貸出ルートができないかと思う。団体貸出は何年か前にお話ししたが条例で決まっているから、それ以外はすごく煩雑になるし大変だという話だった。今ある制度としては特別貸出を利用するということが、特別貸出と個人のカードでの貸出はほぼ変わらない。特別貸出はエプロンシアター、パネルシアターや大型絵本を貸出していただけるというメリットはあるが、貸出期間も同じだし特別貸出のための印鑑をいただくのも1年に1回いただかないといけないというのもある。それならば個人のカードで使って借りても変わらない。それこそ、それは意識があればできることだが、逆に意識のないところ、来られないところにどう働きかけていくかであって、読もうとする気がないところにどうしたら読んでもらえるようになるかということになると、どれだけ門戸を開いて、どうぞ本を借りに来てください、よろしくお願ひしますと言っても全く反応しない。乳児はそれを選ぶことができないので、乳児期にそうしたハードルを飛び越えて、直接働きかけ絵本が目につくような環境を作ってあげるということを、どこができるかと考えたら図書館しかない。何かの形でお願ひしたい。</p>
D委員	<p>私もこの「アイデアが欲しい」という記述回答を見て、全市一斉にという形になると施設の数も多く大変だし、毎年同じような話をして</p>

	<p>いるが団体貸出ができない理由が私は分からない。まずは、本の数が少ないと目に見えているところがある。そういう取り組みができていない施設に、ある程度 100 冊、200 冊、まとめて図書館から絵本とかを一学期間とか貸し出して、二学期目はあと別の 5 つの園くらいに貸し出すとか、何かモデルケースを考えられないかと。</p>
<p>A 委員 D 委員</p>	<p>あれば助かると思う。 一度にでなくてもよいし、何園か希望を募って貸していただけると、少しは状況が変わってくると思う。</p>
<p>会 長 生涯学習課長</p>	<p>生涯学習課長から回答をお願いします。 今いきなり言われても、はい、いいですと回答するのは難しい。状況的を生涯学習課として把握しながら考えていかなければいけないとは思っている。それと、子どもたち本に触れさせるという点で、例えば読み聞かせであれば、平成 30 年から就学前施設に学習ボランティアをぜひ利用されませんかという話をさせてもらっている。それは今まだ継続しているが、その中でボランティアに登録されて読み聞かせをされる方もいる。そうした方も活用していただき、各施設で子どもたち向けの読み聞かせ等を、先生も含めてしてもらいたい。それが一つの小さな部分ではあるのかも知れないが、きっかけ作りにできるのではと思っている。</p>
<p>A 委員</p>	<p>そうした取り組みをしていただいたので、私の園も利用させていただいた。その時は大きなパネルシアターを持ってきていただいたが、とてもうれしい一日だった。こんなことができるボランティアがいらっしやるのだと思い、すごくうれしくて。子どもたちはワクワクしていた。目をキラキラさせて、何か特別なことがあると集中して見て聞いてくれる。特別なイベントの一日を作っていただいたのはすごく良かった。私の園も講談社のキャラバンで絵本のトラックで来ていただいてということイベントとしてやっているが、もう少し豊かな絵本を読む環境ということとなると、やはり日常的なものにしていただければすごく助かるし、いい事業にもなってくる。単発的なイベントとはもったいないと思う。その日休んでいる子は関われない、イベントは定期的が続くとも限らない。ですので、もう少し日常に落とし込みたいなと思いがの模索だった。イベントをたくさん増やして、少しでもいろいろな機会を通じて、こういう立場でなさっていただいていますし、それを体験して実際どうなのか、それを利活用するのが第一だと思う。あるけれども使われないのももったいないから、使っていただけるようにご案内はしているが、やはり意識がある施設はするけれど、意識がない施設はその 1 回のイベントすらないこともある。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>実際、学習ボランティア派遣について活用されていない就学前施設はある。当然生涯学習課からも働きかけていかなければならないと思っているし、また A 委員の方からも園長会等々でお知らせしていただ</p>

A委員	<p>れば助かる。</p> <p>また違う形で働きかけしてほしいと思う。園長会にはたくさんお願いや案内が来る。その中で学習ボランティアの活用の優先順位は決して高くない。絶対的に知らせないといけない、回答を返さないといけない、やらないといけないという事業でもない。意識があれば、それは使いたいと思うが、必ずしも活用しなくていいのであれば、それ以外のことが優先する。それに代えられないくらいこの読書活動というのは重要だと、もう少し個別に丁寧に説明していくと理解してもらえるのではないかと。図書館はすごく大変なことが多いのかもしれないが、そんなに難しいことではないと思う。今まで絵本の読み聞かせにわざわざ出向いて来なかった方に読書の推進が行き渡るのであれば、保護者を含めて学童期よりも幼児期の方がこんなに効果的な活動はないのではないかと考えている。</p>
B委員	<p>C委員も私も県の絵本コンシェルジュを受講して、もう4年目くらい経つ。多分読書関係のボランティアで受講している方も多いが、絵本コンシェルジュでお話をお願いしたいという依頼が全然来ない。絵本コンシェルジュをご存知ないのかなとは思いますが、資格持っている人は結構たくさんいる。</p>
会 長	<p>多分知らないのでは。</p>
A委員	<p>もったいない。</p>
B委員	<p>はい。だけど依頼が来ない。</p>
C委員	<p>私は1回か2回くらい来た。小学校とあとは幼稚園。</p>
会 長	<p>絵本コンシェルジュをどうやってPRしていますか？インターネットで見るとか？</p>
B委員	<p>県で絵本コンシェルジュがいますというのは、ホームページに掲載していて私たちも名簿には載っていると思う。</p>
会 長	<p>飯塚市は何かPRをしていますか？</p>
B委員	<p>飯塚市は分からない。チラシは各保育園や幼稚園には配られていると思うが。</p>
会 長	<p>配っていても理解していないのでは。宣伝をした方がいいと思う。報酬はどんなふうになっていますか？</p>
B委員	<p>こちらから要求するわけではない。</p>
会 長	<p>そこを明らかにしないと懸念事項になって呼びにくいのでは。</p>
C委員	<p>県に問合せしてみたが、旅費程度をいただいてくださいみたいなお答えで、個人個人の話し合いですという感じだった。</p>
B委員	<p>旅費程度なので、施設によってまちまちというか、基準はあるかと聞いたがないと。</p>
会 長	<p>それは定かではないですね。</p>
C委員	<p>そうです。だから呼びにくいのでしょう。</p>
A委員	<p>活用できないのは本当にもったいない。</p>

会 長	普通は人をお呼びするときには、報酬について聞きますね。
B委員	でも、私たちからは言えない。
D委員	その前に、先ほど生涯学習課長が学習ボランティアの話をされていました。学習ボランティアの人材名簿がある。だから本当は人材名簿を、各学校とか幼稚園で活用してくださいというふうに、例えば今の絵本コンシェルジュも名簿に載せればいいのでは。私も毎年、名簿に名前を出しているが、飯塚市からは依頼が来ない。他の所からは来るが(笑)。飯塚市の名簿がどんな扱いになっているのかと。ボランティアを派遣します、講師料を気にしなくていい、どんな地域でも日程さえ合えば名簿登録されている方は行きますとなっているが、人材名簿の有効活用の仕方がうまくいっていないような気がする。
C委員	今の話は L. I. N. K. (飯塚市生涯学習ボランティアネットワーク事業)の名簿のことですね。
生涯学習課長	そうです。
B委員	L. I. N. K. を通してはすごく依頼は来ている。
D委員	読書計画アンケートでも「知らなかった」と回答された園がいくつかあるということは、それだけ周知ができてないということになる。
C委員	明星寺団地のあかりサロンの時も、どこに尋ねていいか分からなかったから図書館に電話されたりしていた。そういうのも多分知らないと思う。
D委員	このアンケート結果を見たら人材名簿の使い方や提供の仕方というか、行政としてこういうことしているというお知らせが、やはり保育所等には特にあまり周知がされてない感じがする。そこを行政はもう少し頑張って欲しい。
生涯学習課長	この学習ボランティア制度については毎年度就学前関連施設の園長会等々で説明をさせていただいているが、毎年度当初の 1 回で終わっていると思うので、また年度の途中でも園長会等々でまた強く勧めさせていただきたい。
A委員	先ほどお話があった絵本コンシェルジュは、知識や情報をたくさん持たれていて有効だし、地域に根差して活動していただけたらと思う。
E委員	絵本コンシェルジュは県の青少年育成課が所管している事業。事業としては無料での養成講座を運営するというのが主だが、絵本コンシェルジュの名簿登録まではしている。絵本コンシェルジュを活用したい場合は、申し込みを筑豊教育事務所の社会教育室にさせていただき、絵本コンシェルジュと活用希望の所を繋ぐというところまでは教育事務所がするが、この事業は要するに先ほど言われた旅費とか謝金は充てのない事業なので、紹介してくださいと言われたらこういう人がいますよと紹介して繋ぐまでというのが私たちに指示されている内容だ。もう一回帰って確認はするが、チラシ等はあるとしてもその広報の仕方がどうなっているかというのは、私たちも県教育庁の所管なのでなかなか

B委員	か積極的な広報活動は今まではしていない。
委員一同	いくらで来てもらえますかと言われても、自分からは答えにくい、ボランティアだし。
B委員 会 長	(笑) いくらですかと言われても、交通費程度としか答えにくい。 でも、やはり基準は決めていた方がいい。依頼する方も聞きづらいし、行く方も言い辛いということなら決めておかないと。ボランティア＝(イコール)タダと思われるのもおかしい。
D委員	市の学習ボランティアでは、今は、1回1,500円ですか、その振込登録書類があるので、講師料は何も心配しないで認定されればいつでもできますよという感じで派遣される。別のパターンでは事業によってこれだけの予算しか払えないが来てくれますかという打診をされることもある。予算がないと言われれば、個人的な関係もあつたら無料でいいという感じで行くこともある。
会 長	活用しないと本当にもったいない。では調査結果について、他にご意見、質問等ありませんか？
D委員	アンケートの学校図書館の記述式の部分で、今まで公立図書館と学校図書館との関係があまりうまくいっていなかった感じだったが、今回はぜひ一緒にコラボしていろいろなことをやって欲しいとか機会を設けてほしいとかいう意見がたくさんあがっている。また図書館はそれでとても忙しくなるかもだが、ぜひうまく連携を取っていただければ学校図書館もいい状況になっていくのではと思いつつ読んでいた。よろしくお願ひしたい。
会 長	ありがとうございます。そろそろ時間も来ております。他にご意見、質問はございませんか？あと、図書館長の方から何かお願ひ事等がありましたらどうぞ。
図書館長	図書館は年間行事として、まず9月に大きな事業サイエンスモール、11月にぶっくりモールがあり、やっとそれが終わったところ。その間も図書館を使った調べる学習がコンスタントに動いていて、年が明ければ飯塚館は蔵書点検がある。スタッフの人数変わらないので、どれかをやめないと新しい事業は取り組めないというなかなか厳しい状況があつて、スタッフの顔色を見てるととても新しいことをやろうとは言い出せない状況ではある。みんな通常のカウンター業務と並行して必死でこなしている。なかなか難しいと思いつつ、やった方がいいと思うところもある。できる範囲で、前向きにやっていきたいとは思っている。微々たるものかもしれないが、ご要望にお応えできるようにしていきたいという検討はしているので、皆様の力をお借りしながら頑張りたいとは思っている。ただ、それも私たちがきちんと方針を考えてからでないと、お願ひしたいことも具体的にはなつていかない。スタッフと一緒に考えていきたい。人数が変わらない中で新し

<p>会 長</p> <p>出席者一同</p>	<p>いことに挑戦するのは、スタッフ一人一人のスキルアップを図ると共に人材育成をして挑戦していく必要がある。いろいろなスタッフがいるので、利用者としてでも結構ですし、図書館運営協議会委員としてでも構わないので、何かお気づきの点があればお声がけをしていただきながら育てていただければありがたい。今回は多くの意見をいただいたので、持ち帰って考えたい。</p> <p>ありがとうございました。方針が決まりましたら、みんなで応援します。本日も貴重なご意見ありがとうございました。また令和 2 年になっても、どんどん活躍してください。今日は長時間の会議、どうもありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。お疲れさまでした。</p> <p>7 閉会 11:52</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第(事前配布資料) ・ (1) 令和元年度 図書館業務報告について(事前配布資料) ・ (2) 令和元年度 図書館事業の進捗報告について(事前配布資料) ・ (3) 「子ども読書活動」に関する調査集計結果(事前配布資料)
<p>公開・非公開の別</p>	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 0人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	